



- 自学・自立
- 思いやり・感謝
- 鍛錬

令和5年度杉並区教育調査結果について

杉並区では、例年「教育調査」を教員、保護者、学校運営協議会に実施をしています。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

昨年度までは、各学校単位でアンケートを回収していましたが、今年度からは保護者の皆様や学校運営協議会の委員の皆様には教育委員会よりWebにて直接、回収させていただきました。生徒からのアンケート結果は学校だより10月号にすでに掲載いたしましたので、ご確認ください。

なお、調査結果は肯定率の数値を用いています。肯定率とは回答の「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合になります。

【1】教員対象の調査結果

		肯定率	
		松溪中	区平均
1	授業では、普段の生活のことや社会での問題・話題になっていることを材料に学べるようにしている。	73.7	75.8
2	授業では、「授業を進めるのは、先生ではなく、児童・生徒である」と児童・生徒が感じられるようにしている。	68.4	49.0
3	授業では、児童・生徒が、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学べるようにしている。	57.9	51.3
4	授業では、児童・生徒が、挑戦や失敗を繰り返しながら、問いや課題の解決に取り組めるようにしている。	78.9	77.5
5	授業では、児童・生徒が、学習を進める方法やペースを自分で決めながら学べるようにしている。	47.4	43.0
6	授業では、児童・生徒一人ひとりの学びに合わせて、「わからない」を解決するための指導・支援をしている。	68.4	69.5
7	授業の中で出た意見や考えを、児童・生徒が自分の学びに生かせるようにしている。	89.5	78.5
8	授業では、児童・生徒が、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学べるようにしている。	94.7	77.8
9	学級の全体に関わることは、児童・生徒が自分たちで、全員の考えや気持ちを確かめながら決められるようにしている。	78.9	72.8
10	学校生活で児童・生徒が疑問に思ったことは、全校で話し合ったり、みんなで合意したりしながら変えられるようにしている。	78.9	63.9
11	学校の教育目標や目指す児童・生徒像、特色ある教育活動や教育課程などについて、学校評議会や学校運営協議会、学校関係者評価委員会で協議している。	78.9	59.9
12	児童・生徒が、自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	68.4	56.3
13	連携する小・中学校による小中一貫教育（各教科等において、義務教育9年間を見据えた一貫性のある学習指導計画の作成、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	73.7	53.6
14	教員である自分自身が身に付けたい資質・能力について、必要な学びが得られており、学び続けることができている。	73.7	66.6
15	子どもと向き合う時間が確保できている。	63.2	45.4
16	タイムマネジメントを意識して勤務できている。	36.8	49.3
17	勤務する学校は、働き方改革に意識的に取り組んでいる。	78.9	41.7
18	誇りややりがいをもって仕事を行うことができている。	89.5	69.5
19	ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができている。	42.1	36.1
20	スクール・サポート・スタッフの活用が負担軽減につながっている。	57.9	75.5
21	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちが学びや生活の必要に応じ、選択して活用している。	89.5	69.2
22	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫を行っている。	78.9	43.0
23	授業や行事、学校生活全般において、その内容や進め方を児童・生徒が自らを学びの主体であると実感しながら、自分たちで考えたり教職員及び学校関係者と話し合ったりできているようにしている。	78.9	61.6

本校の教員が区平均より肯定率が上回っている項目は黄色で塗りつぶしてあります。区平均より下回っている項目は4つありました。①と⑥の項目は授業改善のヒントになり、今後の改善が求められる結果となりました。社会事象に敏感な教員育成を図っていきます。⑩の項目では、業務の優先順位や仕事の効率化などの課題が見られます。長時間勤務と業務の成果が連動していない教員も見られ、意識改革が求められます。⑳の項目では、校内人材を活用できている教員とそうでない教員の差があると考えられます。教員一人ひとりのスキル向上とともに、学校という組織で対応していく点を今後の課題としたいと思います。

【2】保護者対象の調査結果 (回答数 153 名 回答率 47.1%)

		肯定率	
		松溪中	区平均
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている。	51.6	54.7
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている。	62.1	65.5
3	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる。	51.6	49.7
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	56.2	46.3
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	54.2	40.6
6	子どもは、児童・生徒 1 人 1 台専用のタブレット端末や学習 e ポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している。	71.9	64.7
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	49.0	34.0
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある。	52.9	43.2
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している。	72.5	62.8
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている。	81.0	79.0
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている。	51.6	43.9
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	39.9	35.0
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている。	27.5	27.8
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる。	75.8	68.4

本校の肯定率は、ほとんどの質問項目で区全体の平均を上回っています。区の平均を下回った項目は①「子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている。」②「子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている。」③「学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている。」でした。

また本校の肯定率が 50%未満については項目⑦、項目⑫及び項目⑬の 3 項目でした。

⑦について、「学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場」では、学習の場として自習室は平日の放課後は開放しています。また個々に応じた生徒の支援として、令和 4 年度から「個別対応教室」を開室し、学習の機会提供を行っています。さらに希望者に対しては、平日の放課後に「放課後学習教室」を開講し、学生ボランティアからの学習指導を受ける機会も提供しています。

⑫については、普段の教員の見守りに加え、「ふれあい月間アンケート」の実施や「QUTEST」、生徒と教員の二者面談等を実施しています。スクールカウンセラーとの連携から、諸問題について、未然防止に心掛けています。

⑬については、学びの教室巡回教員との連携や、特別支援教育校内委員会などで情報を共有しています。しかしながら、保護者の皆様方への発信が弱かったことを反省し、次年度の課題として取り組んで参ります。

【3】学校運営協議会対象の調査結果 (R4 年度：10 名回答、R5 年度 7 名回答)

		肯定率	
		R4 年度	R5 年度
1	子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問いや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている。	60.0	57.1
2	子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている。	50.0	28.6
3	教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている。	50.0	71.4
4	学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	80.0	71.4
5	児童・生徒 1 人 1 台専用のタブレット端末や学習 e ポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々の学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている。	70.0	57.1
6	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	60.0	28.6
7	学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している。	70.0	71.4
8	学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員（学校関係者を含む）と話し合ったりしている。	60.0	71.4

令和 4 年度と令和 5 年度の回答数が異なることを差し引いたとしても、項目②と④は低評価になりました。この結果を真摯に受け止め、学校運営協議会での情報発信をさらに高めることを次年度の課題と考えます。

教育活動の紹介

【小中連携】ミュージカル落語（2/8実施）



2月8日（木）、劇団四季出身にして日本で唯一のミュージカル落語家、三遊亭究斗師匠にお越しいただき、松溪中の2年生と西田小・桃井第二小の5年生が合同でいじめの授業を実施しました。演目は、いじめを撲滅するミュージカル落語「一口弁当」。貧しくイジメにあっている少年が一人の老人から「笑いにポジティブ・シンキング」を教わり、笑いと音楽で成長していく様子に、会場は大盛り上がり！

演目が終了すると、松溪中の2年生に主役をバトンタッチ。3校合同の小グループに分かれ、「えんたくん」を囲みながら「いじめをなくすためには」をテーマに、中学生リーダーを中心に活発な意見交流が行われました。最後の意見発表では次々に手が上がり、時間が足りなくなるほどでした。一人ひとりが自分にできることを考え、いつの日かいじめが撲滅される日が来ることを願います。



1年生理科出前授業（2/14,15実施）

杉並区教育委員会済美教育センター理科班の先生方による「理科出前授業」が2月14日、15日の両日で行われました。

今回の授業は「物質の状態変化」実験です。気体から液体、液体から固体になる変化の実験を、1年生たちは楽しそうに学んでいました。



小中合同研修会（2/14実施）

2月14日に西田小学校、桃井第二小学校の先生方と3校による小中合同研修会を実施しました。

授業公開では「体力向上・食育・オリパラ部会」において中学生が小学生に教え合うかたちのバレーボールとハンドボールを実施し、ボランティアによる中学1・2年生たちが、小学生に手取り足取り教えていました。協力してくれた1・2年生、ありがとうございます。



令和6年度新入生保護者説明会（2/17実施）

令和6年度4月に松溪中学校入学予定の保護者の方々にお越しいただき、「新入生保護者説明会」を2月17日（土）に実施いたしました。120名を超える保護者の方にご来場いただき、誠にありがとうございました。

少し大きめの標準服を身にまとった新1年生と4月に会うことを教職員、在校生一同お待ちしております。

入学式は令和6年4月9日（火）9時30分開式になります。保護者の方の人数制限はいたしませんので、晴れ姿をご家族でお祝いしてください。

表彰

■令和五年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会

作文委員会賞…池田春華（２年）

■第73回 東京都公立学校美術展覧会出展作品（東京都美術館）

国語（書写）…「不断の努力」栗原愛実（３年）

美術（絵画）…「吸引」下河優那（２年）、「パチパチ☆パニック」松林穂高（２年）

「chou cream」小林大雅（２年）

技術（木材加工）…「ペンスタンド」坂下美嘉（１年）、森野快都（１年）、川野權俐（１年）

家庭（裁縫）…「オンリーワンＴシャツ」松尾美那（２年）

令和５年度卒業式のお知らせ

令和６年３月１９日（火）に松溪中学校の卒業式が行われます。今年の卒業式は９時３０分からアリーナにて行います。保護者の方の参列に人数制限をかけません。

当日の日程は以下ようになります。コロナ禍で入学した３年生たちは入学当初、制限のある学校生活を送りましたが、予定していた行事等はすべて実施できました。３年生の晴れの姿である卒業式を在校生、保護者の皆様方、地域の皆様方で見送りたいと思います。

- 7:50 係生徒登校（放送・受付・コサージュなど）※代表生徒練習
- 8:25 卒業生登校（学活終了後、ランチルームにて合唱練習）
在校生登校（学活終了後、アリーナにて礼法指導、合唱練習）
- 8:45 保護者、入場（8:45 以前はアリーナ入口付近でお待ちいただきます）
- 9:15 来賓、入場
- 9:25 卒業生、入場
- 9:30 開式
- 11:00 閉式（予定）
- 11:40 卒業生歓送
- 12:00 在校生学活終了後、下校

3月予定

- 1 日（金）都立高校一般・前期入試合格発表日、中央委員会
- 3 日（日）中学生レスキュー隊第二回合同訓練・閉校式（阿佐ヶ谷中）
- 4 日（月）生徒集会、生徒会主催ボッチャ大会一日目（昼休み：アリーナ）
学習発表会展示の部準備
- 5 日（火）学習発表会展示の部一斉見学、生徒会主催ボッチャ大会二日目（昼休み：アリーナ）
- 6 日（水）都立高校分割後期・二次募集出願受付（始）、救命救急講座（３年）１～４校時
生徒会主催ボッチャ大会最終日（昼休み：アリーナ）、職員会議
- 7 日（木）３年球技大会、避難訓練、学習発表会舞台の部リハーサル
- 8 日（金）PTA運営委員会、保護者会（１４：００～）
- 9 日（土）学習発表会舞台の部、学校運営協議会（１３：３０～）、分割後期・二次募集入試
- 11 日（月）振替休業日、笑顔と学びの体験活動プロジェクト（羽田空港制限区域バスツアー：希望者）
- 12 日（火）３年薬物乱用防止教室
- 13 日（水）３年校外学習（相模湖プレジャーフォレスト）
- 14 日（木）都立高校分割後期・二次合格発表日、卒業式予行（２～３校時）
- 15 日（金）３年奉仕活動、お楽しみ会
- 18 日（月）朝礼
- 19 日（火）卒業式（９：３０開式）
- 20 日（水）春分の日
- 21 日（木）定時制二次出願受付、１年球技大会、小笠原自然体験交流（始）
- 22 日（金）２年球技大会、大掃除
- 25 日（月）修了式
- 26 日（火）春季休業（始）、都立定時制高校二次入試日
- 27 日（水）都立定時制高校二次合格発表日、小笠原自然体験交流（終）